

2023. 6. 16

「地域共創戦略担当部長」の配置について ～「地域共創戦略」の実現に向けた体制強化～

静岡銀行（頭取 八木 稔）では、第1次中期経営計画「Xover～新時代を拓く」で取り組む「地域共創戦略」の一環として、地域の統括拠点である地区カンパニーに「地域共創戦略担当部長」を配置しますので、その概要をご案内します。

1. 配置日 6月16日（金）
2. 配置人数 3名（東部・中部・西部カンパニーに1名ずつ配置）
3. 取り組みの背景、目的

- 2023年4月にスタートした第1次中期経営計画では、「すべてのステークホルダーがサステナブルかつ幸福度が高まっている状態」を2030年の目指す姿として、サステナブルな地域を未来世代に遺していくため、複雑化、多様化する地域課題の解決に取り組む「地域共創戦略」を最重要戦略と位置づけています。
- 地域共創戦略では、地域の自治体やお客さまとの対話を通じて明確化した地域ごとの課題に向き合い、その解決に向けて、しずおかフィナンシャルグループ内外のネットワークをつなげ、伴走していく取り組みを展開していきます
- こうした取り組みを地域の実情に合わせ、従来以上に地域と連携を深めながら推進していく体制を強化するため、新たに静岡県内の3つの地区カンパニー（東部、中部、西部）に地域の専担責任者として「地域共創戦略担当部長」を配置しました。

4. 今後の方針

- 地域共創戦略担当部長は、地域の営業店長や担当者と連携して、お客さまや自治体との対話をこれまで以上に深め、各種課題を明確化します。
- その課題に対し、地域共創戦略担当部長が地域の中心となり、しずおかフィナンシャルグループ各社・地方創生部、地域の事業者や異業種連携などで構成するプラットフォーム機能を活用し、解決策を検討・立案、提供のうえ、自治体や地域企業のキーパーソンと連携し対応してまいります。

